



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 木徳神糧株式会社

コード番号 2700

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平山 惇

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部財務部長 (氏名) 稲垣 英樹 (TEL) 03(5636)1501

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日

平成23年9月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	48,484	△7.8	1,047	109.7	1,038	136.5	△111	—
22年12月期第2四半期	52,562	△0.9	499	△6.6	439	△15.9	235	△23.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	△13.20	—
22年12月期第2四半期	27.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	23,014	5,554	22.4	607.51
22年12月期	25,724	5,752	20.7	626.54

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 5,150百万円 22年12月期 5,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	2.00	—	4.00	6.00
23年12月期	—	3.00	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△2.2	1,490	21.4	1,430	31.5	200	△65.8	23.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 2 Q	8,530,000株	22年12月期	8,530,000株
23年12月期 2 Q	52,197株	22年12月期	51,109株
23年12月期 2 Q	8,478,565株	22年12月期 2 Q	8,479,895株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の発生による経済活動の停滞や消費低迷等の影響により厳しい状況となりました。また、福島第一原発事故に端を発した電力不足問題が長期化の様相を呈し、景気の先行きは不透明感を増しております。

主力事業の米穀業界におきましては、農水省による政府米の買入、米穀機構の販売環境整備対策事業による市場隔離、猛暑による品質の低下、東日本大震災による被害等を受けて、平成22年産米の需給が過剰から引き締めへ転じたこと、加えて原発事故の影響でコメを取巻く環境が不透明となったこと等により、卸会社間における取引価格が上昇に転じました。

このような状況のなか、当社グループの米穀事業においては東日本大震災による甚大な被害を受けながらも、環境変化に対応した仕入を実施する一方、製造・販売体制の迅速な見直しを行う等により、取引先や消費者への食料の安定供給という社会的使命を果たしてまいりました。

当第2四半期累計期間の売上高については、玄米販売の増加やミニマム・アクセス米等の取扱い増により販売数量は増加しましたが、平成22年産米の価格は平成21年産米より安値で推移したことにより、売上高は48,484百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

営業利益と経常利益については、提案型営業の徹底や新規開拓の強化に努める一方、環境変化に対応した仕入の実施や営業活動の見直しによる利益率の改善、並びに販売及び管理コストの削減が功を奏し、営業利益は1,047百万円（同109.7%増）、経常利益は1,038百万円（同136.5%増）となりました。

しかしながら、平成23年5月9日及び平成23年7月11日に公表いたしましたとおり、東日本大震災による被害等により特別損失1,278百万円を計上した結果、四半期純損失は111百万円（前年同期は純利益235百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は23,014百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,709百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加額883百万円に対し、受取手形及び売掛金の減少額1,490百万円、たな卸資産の減少額425百万円、前渡金の減少額1,037百万円、有形固定資産の減少額821百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が17,460百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,511百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少額1,885百万円、短期借入金の減少額233百万円、1年内償還予定の社債の減少額128百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少額177百万円、未払法人税等の減少額96百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が5,554百万円となり、前連結会計年度末と比べ198百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少額145百万円等があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の業績予想につきましては、先行きが不透明であります。平成23年8月2日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

- ・たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて簿価切下げを行う方法によっております。

- ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1,029千円、経常利益は1,053千円、税金等調整前四半期純利益は92,115千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は92,093千円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,820,851	1,937,268
受取手形及び売掛金	7,221,954	8,712,658
商品及び製品	2,348,898	2,007,398
仕掛品	348,844	401,558
原材料及び貯蔵品	930,293	1,644,920
前渡金	1,291,236	2,328,628
未収入金	354,945	132,728
繰延税金資産	112,913	179,944
その他	188,599	156,393
貸倒引当金	△4,661	△5,983
流動資産合計	15,613,876	17,495,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,257,725	2,534,485
機械装置及び運搬具（純額）	792,251	1,044,675
土地	2,677,576	2,957,521
リース資産（純額）	20,484	23,151
その他（純額）	33,864	43,661
有形固定資産合計	5,781,902	6,603,495
無形固定資産		
ソフトウェア	36,941	42,872
その他	42,755	44,153
無形固定資産合計	79,696	87,026
投資その他の資産		
投資有価証券	901,899	907,632
長期貸付金	2,150	2,953
長期前払費用	11,373	18,279
繰延税金資産	4,149	5,591
その他	704,725	688,766
貸倒引当金	△85,403	△84,968
投資その他の資産合計	1,538,894	1,538,254
固定資産合計	7,400,493	8,228,776
資産合計	23,014,370	25,724,291

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,853,009	4,738,126
短期借入金	7,612,782	7,846,085
1年内償還予定の社債	373,500	501,600
1年内返済予定の長期借入金	1,212,711	1,390,072
未払法人税等	113,457	209,640
繰延税金負債	35	—
賞与引当金	156,049	144,718
災害損失引当金	122,114	—
リース債務	5,332	5,332
その他	2,444,946	2,145,703
流動負債合計	14,893,938	16,981,280
固定負債		
社債	500,000	632,000
長期借入金	1,430,975	1,770,586
繰延税金負債	419,262	448,748
退職給付引当金	35,326	35,967
リース債務	15,151	17,818
資産除去債務	93,042	—
その他	72,350	85,191
固定負債合計	2,566,108	2,990,311
負債合計	17,460,046	19,971,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	331,508	331,508
利益剰余金	4,426,763	4,572,557
自己株式	△19,739	△19,294
株主資本合計	5,268,033	5,414,271
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,864	△15,361
繰延ヘッジ損益	△2,925	△15,107
為替換算調整勘定	△83,856	△71,451
評価・換算差額等合計	△117,647	△101,921
少数株主持分	403,937	440,349
純資産合計	5,554,323	5,752,699
負債純資産合計	23,014,370	25,724,291

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	52,562,139	48,484,755
売上原価	49,168,236	44,628,819
売上総利益	3,393,903	3,855,936
販売費及び一般管理費	2,894,613	2,808,776
営業利益	499,289	1,047,160
営業外収益		
受取利息	583	3,482
受取配当金	10,835	15,230
不動産賃貸料	26,719	22,299
負ののれん償却額	2,472	—
デリバティブ評価益	—	185
為替差益	37	—
その他	33,977	65,228
営業外収益合計	74,626	106,426
営業外費用		
支払利息	115,704	88,239
不動産賃貸費用	8,399	4,629
為替差損	—	16,900
デリバティブ評価損	4,246	—
その他	6,410	5,277
営業外費用合計	134,760	115,046
経常利益	439,155	1,038,539
特別利益		
固定資産売却益	139	239
貸倒引当金戻入額	3,966	886
退職給付引当金戻入額	—	4,078
投資有価証券売却益	—	0
災害保険金	—	249,900
その他	1,103	3,810
特別利益合計	5,210	258,915
特別損失		
固定資産売却損	2,522	—
固定資産除却損	822	220
減損損失	—	265,944
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	91,062
災害による損失	—	917,583
投資有価証券評価損	16,489	—
その他	1,839	4,150
特別損失合計	21,673	1,278,961
税金等調整前四半期純利益	422,692	18,493
法人税、住民税及び事業税	129,889	108,782
法人税等調整額	53,975	41,779
法人税等合計	183,865	150,562
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△132,068
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,033	△20,190
四半期純利益又は四半期純損失(△)	235,792	△111,878

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。